

漢詩を書く(1)

締切り 六月二十四日(必着)

尋隠者不遇 賈島
松下問童子
言師採藥去
只在此山中
雲深不知處

奥村憲照先生書

◎作品創りの第一歩として、漢詩を題材に小品を書いてみましょう。書体・構成は自由です。

◎まずは、用紙に対してのバランス、行間・字間、行の中心などを整えて書くことが大切です。

隠者いんじやを尋ねるに遇あわず 賈島かとう

松下童子に問う

言う師は薬を採り去ると

只此の山中に在らん

雲深くして処を知らず

ある日友の隠者(学識のある道士だが役人にならず山林に隠れ住んでいる人)を尋ねたが、あいにくるすであつた。召使いの童子が老いた松の樹の下に居たから、師はどこへ行かれたのかと問えば、薬草を取りに行かれたと答える。賈島は思う、師は隠者であるから世間へは出られない。やはりこの山中に居られることであろう。あとを尋ねて行こうか。しかし何分にも雲が深くてこれこめてとても会えそうもないと断念した。

◎作品の出し方

▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)

▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。筆ペンも可です。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

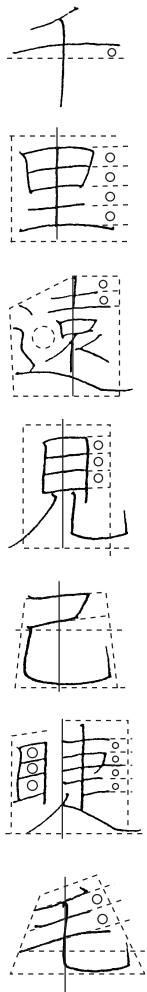
▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



手本をよく見てゆっくりと正しく書く

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

日本の諺

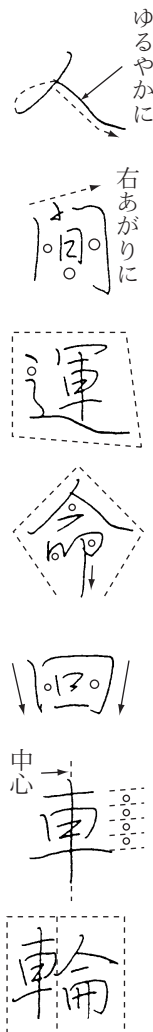
己が睫毛は見えぬ
千里の遠きは見えて

おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



ゆるやかに

右あがりに

中心

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★人間の：(書体Ⅱ行書)

クロイソス(？)前五四

小アジア、リディア王国最後の王
クロイソスは、リディア王国の王で
したが、ペルシャとの戦争に敗れキュ
ロス王に仕える身となりました。ペル
シャが新たな戦争に臨む際に、キュロ
ス王に進言した言葉です。

「人間の運命は車輪のようなもの。
くるくる回りつつ、同じ者がいつまで
も幸運であることを許さないものだ」

◆7月課題予告(楷書)

大切なことは
君の眼差しの
中にあるのだ

★千里の：(書体Ⅱ楷書)

どんな遠くでもはっきり見える目の
持ち主であっても、最も近い自分のま
つげを見ることはできません。

同様に他人の欠点は目につきやすく
あれこれと非難がましいことを言いが
ちですが、自分の欠点は案外気がつか
ないものです。他人の欠点を非難する
前に、まずわが身を振り返ってみるこ
とが大切です。

◆7月課題予告(行書)

駕籠に乗る人
担ぐ人 そのまた
草鞋を作る人

▼教範・書範Ⅱ楷書

▼師範Ⅱ行草または草書

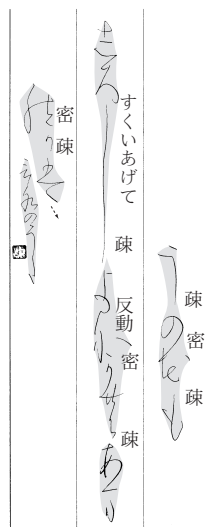
一般部かな課題

締切り 6月24日(必着)

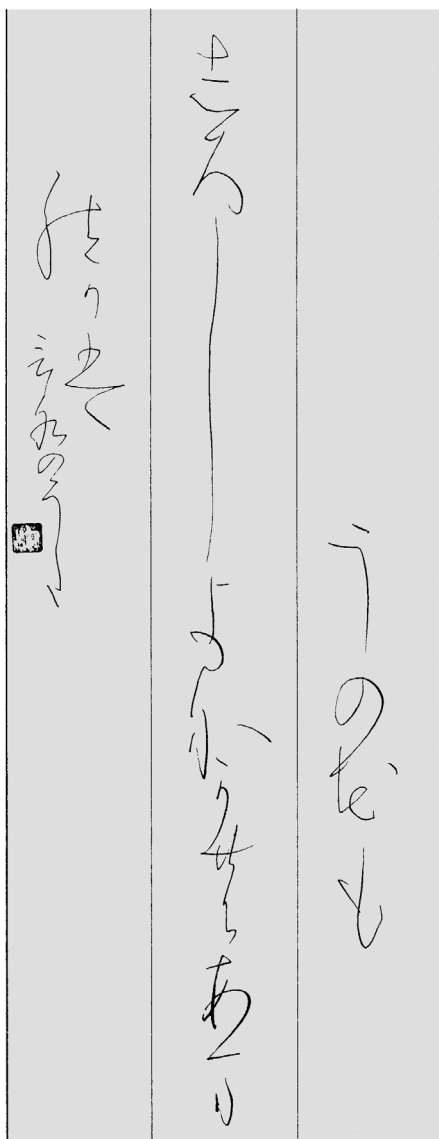
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



うの花も白^{しろ}し夜半^{よな可農}の天河^{あ方可盤}
言水^多のうた

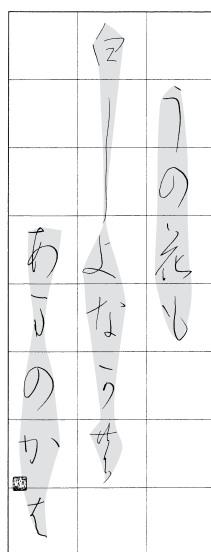


おぎ 荻 田 蒼 仙 書

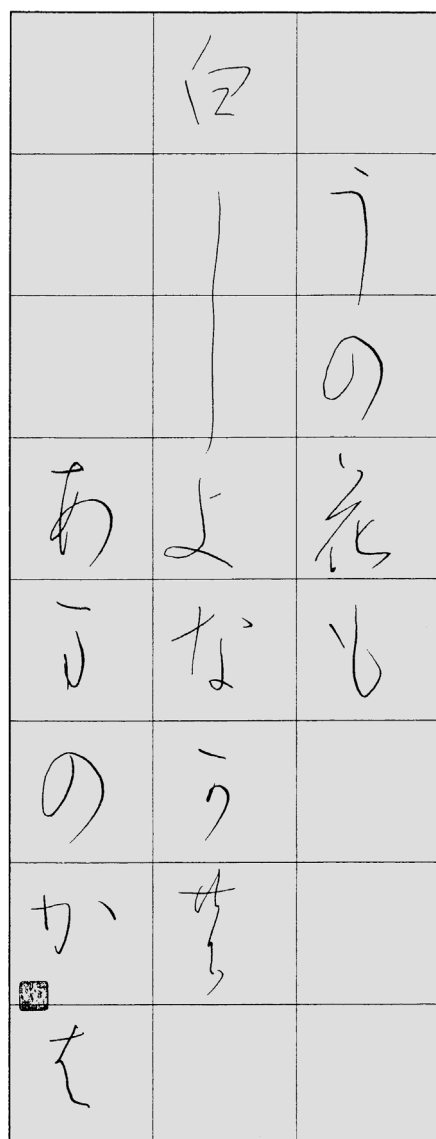
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



うの花も白^{しろ}し夜半^{よな可農}の天河^{あ方可盤}



おぎ 荻 田 蒼 仙 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

うの花も白^{はな}し夜半^{よなか}の天河^{あまのがは}

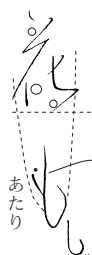
(池西言水)

〔句意〕卵の花が白く咲いている。その上に夜ふけの天の河が白く澄んで流れている。地と天の白の呼応です。

〔級位ワン・ヒント〕

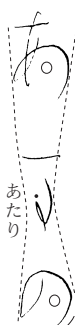
漢字畑の方は、かなが書けなくても恥ずかしい事はありませんが、折角のコーナーですからある程度の力は持ってください。私もそんな事でかなへ入りました。そして調和体がうまくなりたいたいです。さて今月は、回転はゆっくり大きく、直線は伸び伸びと力強く書きましょう。さりとて全体が重くならないようスピードと軽い線も入れて全体の景色にも留意しましょう。

微妙な曲線



大きく

方向が大切



〔段位ワン・ヒント〕

起・終筆の近い連綿は力強く大胆にそして放ち書は広い空間を作る意識をもちましょう。行の終筆は、次の行頭へジャンプする意識で運筆して下さい。硬筆といえども、弾むように息長く運筆して下さい。今月は意外性の構成ですが、毎月のを参考にして自由な散らしで結構です。散らしは自由で、自然でなければよろしいのです。

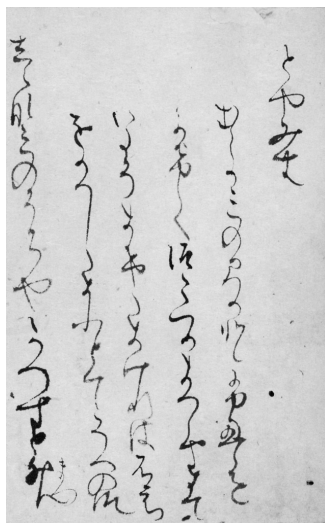
◆7月課題予告

神田川祭^{なか}の中を流れけり^{かんだがまつり}

(久保田万太郎)

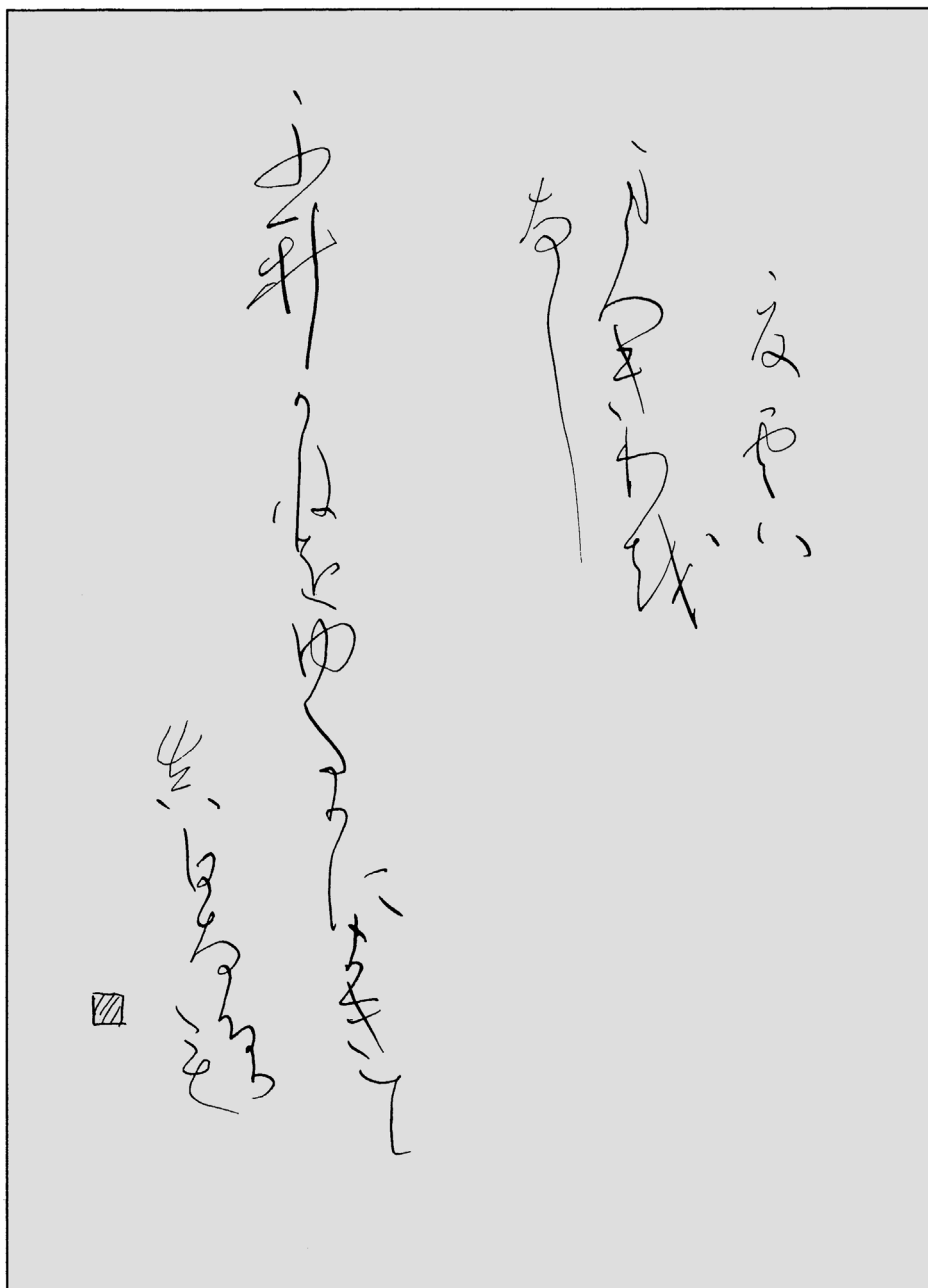
〔古筆参考〕

一条摂政集



締切り 六月二十四日（必着）

築瀬舟香書



とやみむ

むらかみのみかどふえを

かけて、御ごつかまつらせたまて、

いたうまけたまければ、ふえ

をかへしたまふとて、うへの御

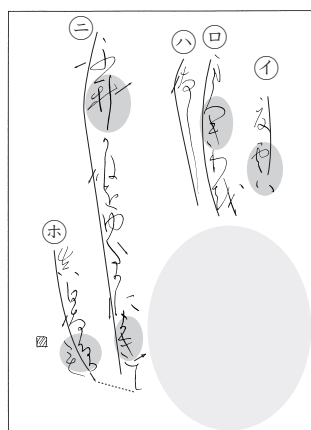
しらのなみのうちやかへすとおも

夏雲はまるき環をなし富士が嶺を
ゆたかに巻きて真白なるかも

〔歌意〕夏雲はまるい環になって、富士の嶺のまわりをふっくらと豊かにとり巻いている。なんと真白い雲の環だろう。

〔出典〕名歌即訳 若山牧水

〔解説〕



①と②、①と③、①と④、
それぞれ呼応。

● 墨の動き注意。

○ 大きな間↓余白大切。

↙ の方向注意。

呼 応

かなは一般的に単純形です。その単純形の線を相互に影響させながら美しい面を作っていきます。いつも解説の中で呼応について説明していますが、それはほんの一部にすぎません。背中合わせの呼応もありますし、内にある余白を包む呼応もあるのです。

◆7月課題予告

夏草の茂りの上にあらはれて
風になびける山百合の花

（若山牧水）

締切り 6月24日(必着)

我が家の息子も今年高校に入学し、
毎日のお弁当作りに悪戦苦闘して
います。この梅雨時にも安心して
持たせられるおかずとか、裏技の
調理法などありましたらぜひとも
ご伝授をお願いいたします。

◎手本は水性ボールペン使用

我が家の息子も今年高校に入学し、
毎日のお弁当作りに悪戦苦闘して
います。この梅雨時にも安心して
持たせられるおかずとか、裏技の
調理法などありましたらぜひとも
ご伝授をお願いいたします。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん
岡 嶋 桂 川 書

「三重苦の聖女」ヘレン・ケラーは、
福祉事業に専念し尊敬を集めた。

静岡県熱海市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 6月24日 (必着)



準初段から師範まで
奥村暢之 臨



新入から1級まで (行書)

澤 静雨 書



槽 粕 藻 者 抱

〔出典〕書譜 (687) 〔筆者〕孫過庭 (648?～703?)
〔読み〕槽粕を (振り)、藻鑑する者は (其の青華を) 抱む。

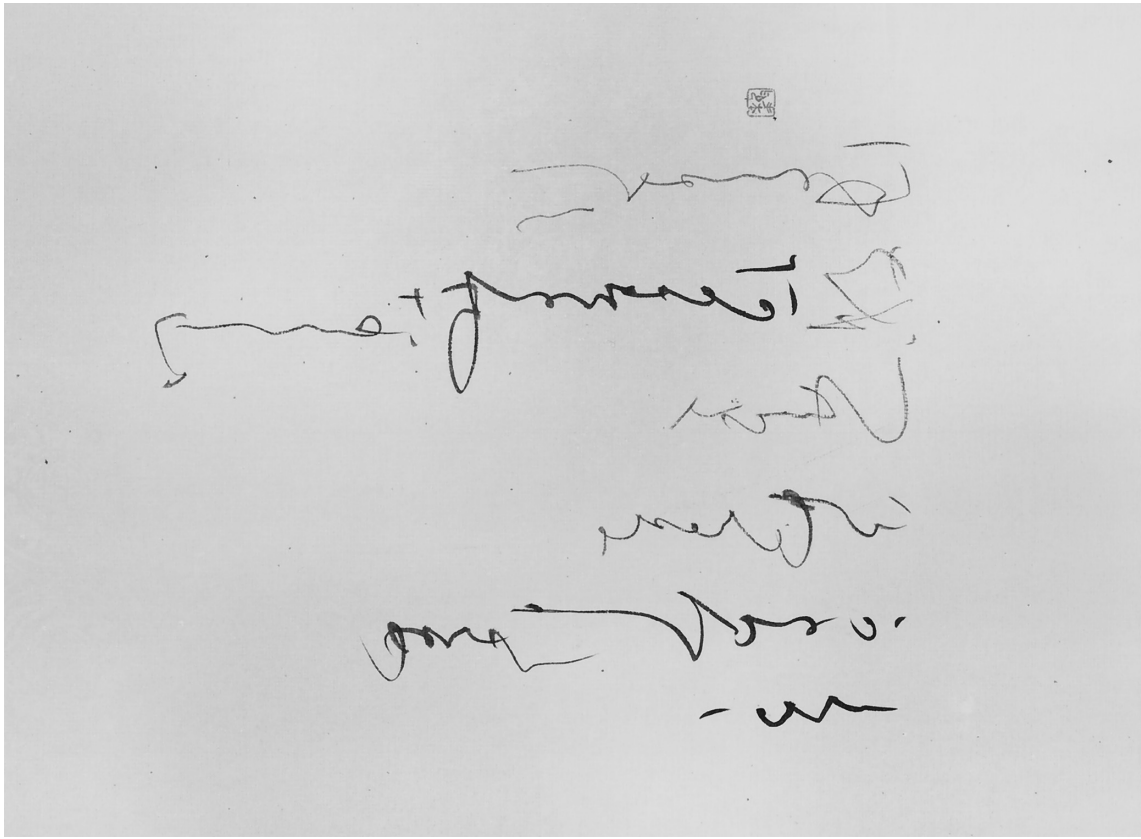
〔読み〕心流水に随いて去る。
〔大意〕心は流水のようにさらさらとよどみがない。

一般部毛筆かな課題

締切り 6月24日 (必着)

※検定試験三段コース以上を兼ねる。

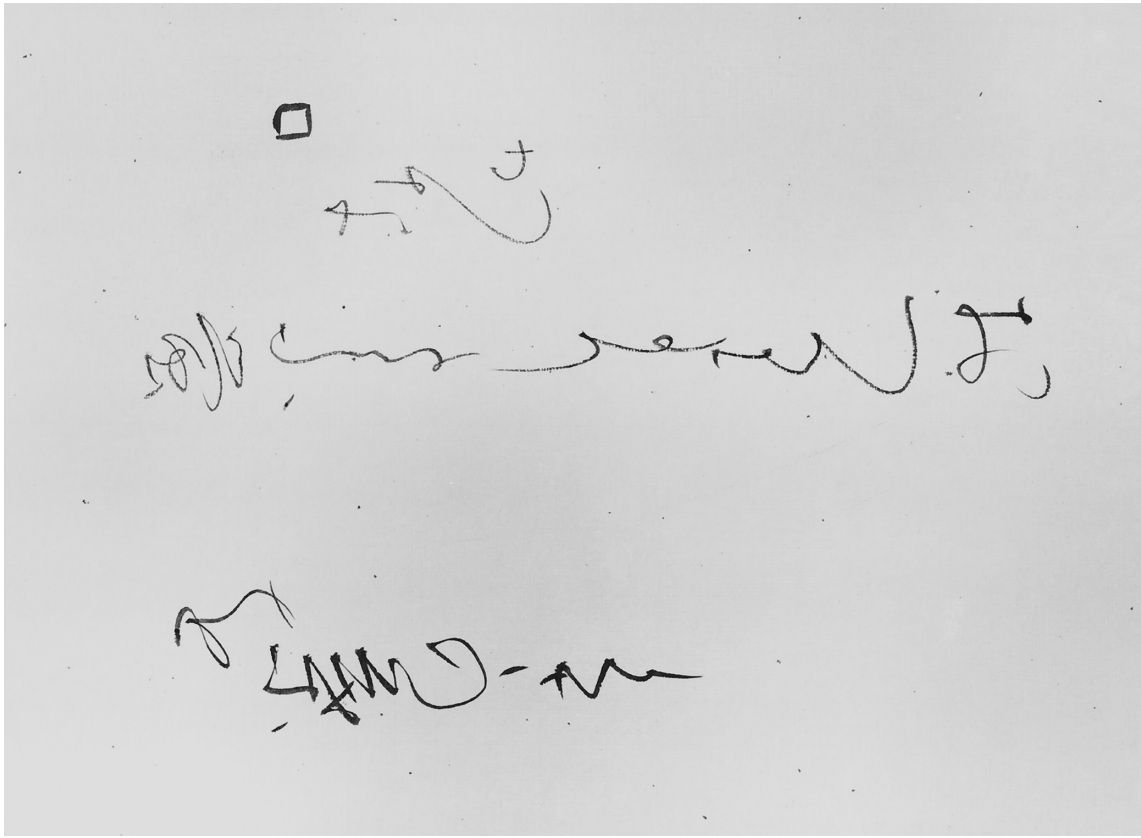
くる、
阿可^あか^かずとやなく山ほとときす
か^かと見ればあけぬる夏^あの夜^よを



準初段から師範まで

※検定試験一級コースを兼ねる。

草^{くさ}の葉^はを落^おちるより飛^とび去^さる哉^{かな}



新入から一級まで

浅井^{あさ}機山^{きざん}先生書

〔出典〕古今和歌集 壬生忠岑

〔歌意〕

日が暮れたかと思うと、すぐにも明けてしまう夏の短夜を、まだ飽き足りないといって鳴いているのだろうか、山ホトトギスは。

〔出典〕松尾芭蕉

〔句意〕

草の葉から落ちるとみるやいなや、光跡をひきながらとぶ螢に興を感じての句である。

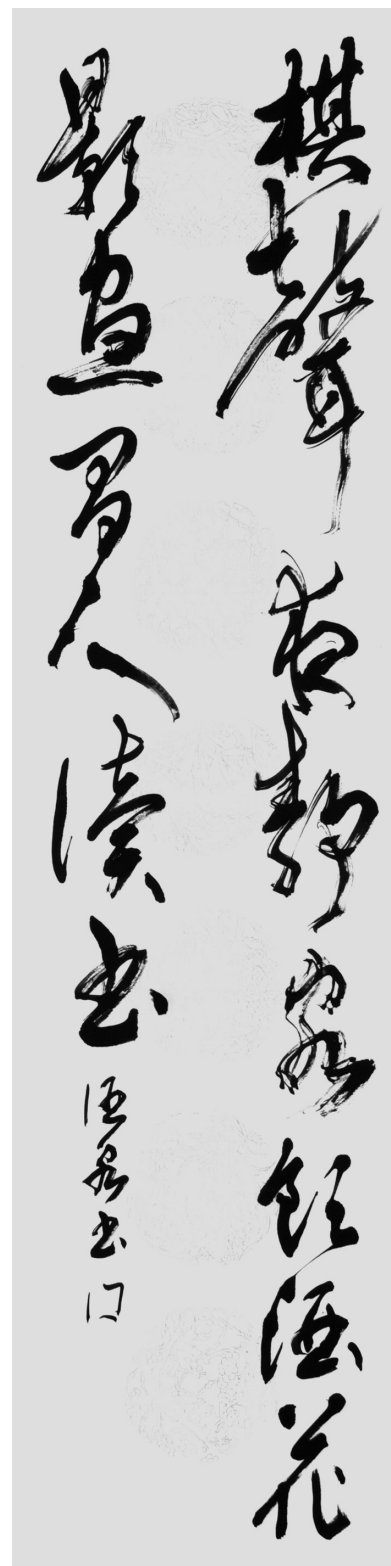
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 六月二十四日（必着）

半切（一三六cm×三五cm）

新井清泉書



基聲夜静客飲酒
花影畫間人讀書
俞徳鄰

〔大意〕 碁を打つ音は静かで夜の客は酒飲んでゐる。昼は書斎の窓に映ずる花の影が静かで人は読書している。

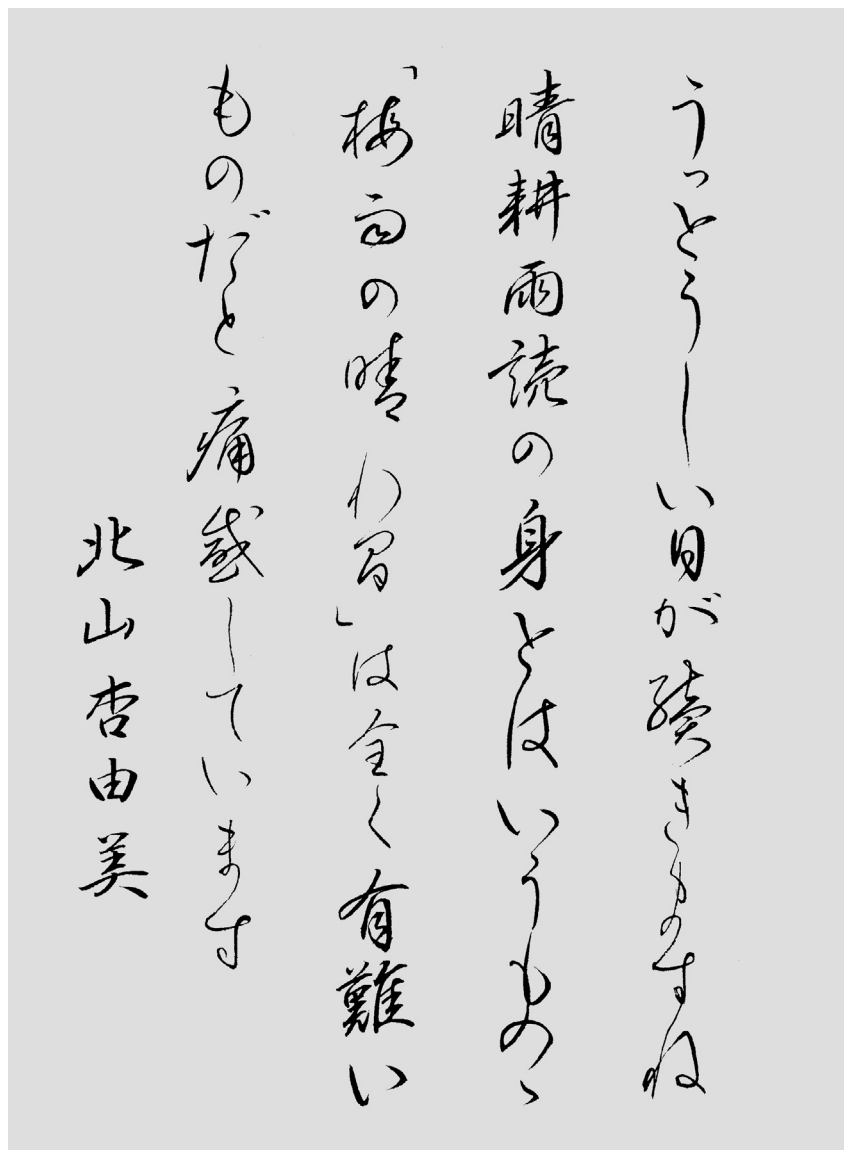
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕 創作への展開（角川書道字典より）



〔古典字例〕

おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆



半紙（334mm×240mm）

※検定試験三段コースを兼ねる。

- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。
- 成績（天位〜5等）は、評価により毎月変わります。
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

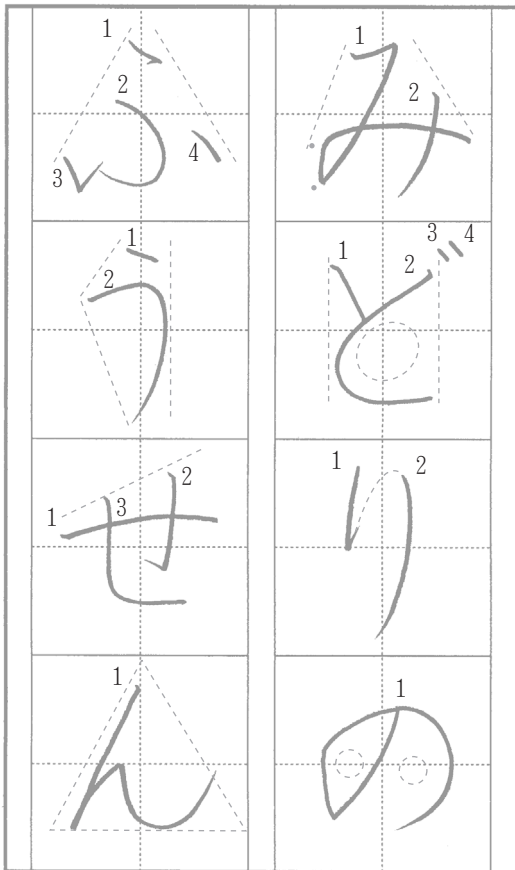
〔条幅・細字作品の出し方〕

・印で墨つぎしました。

（ご自分の氏名）

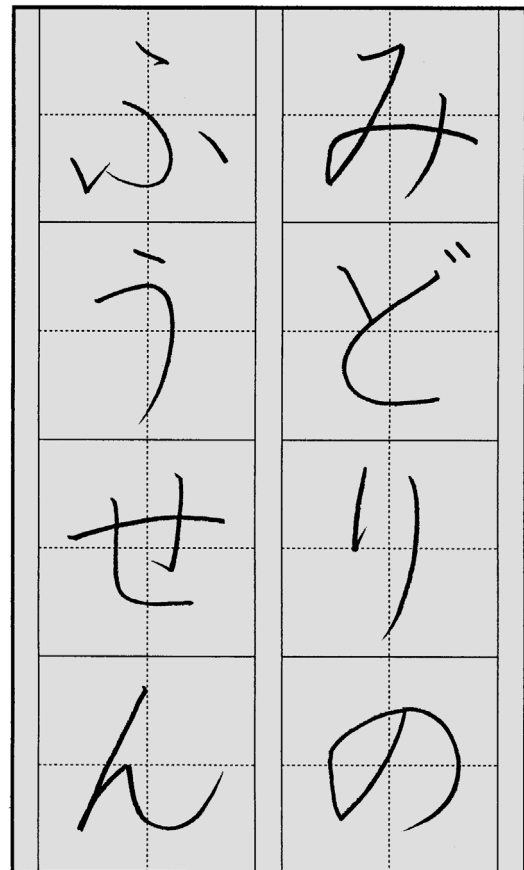
うつつとーい日が続きますね
晴耕雨読の身とはいろいろもの
「梅雨の晴れ間」は全く有難い
ものだと痛感しています

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



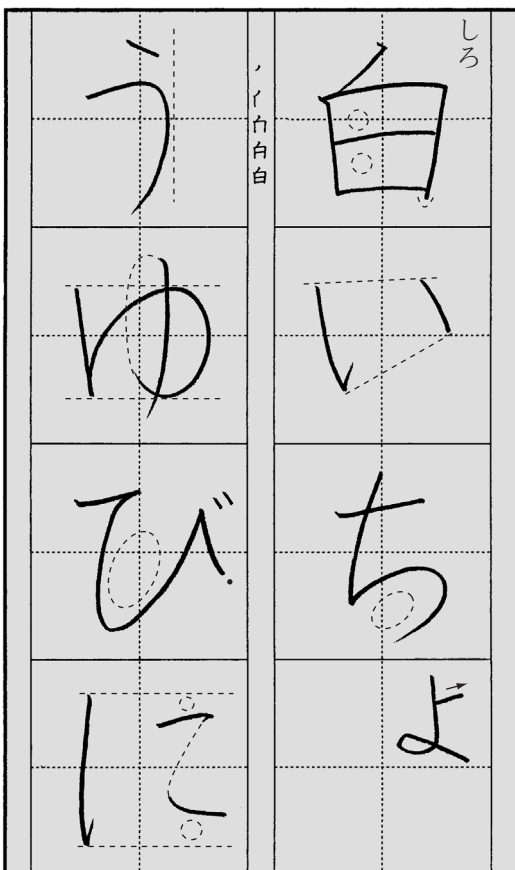
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



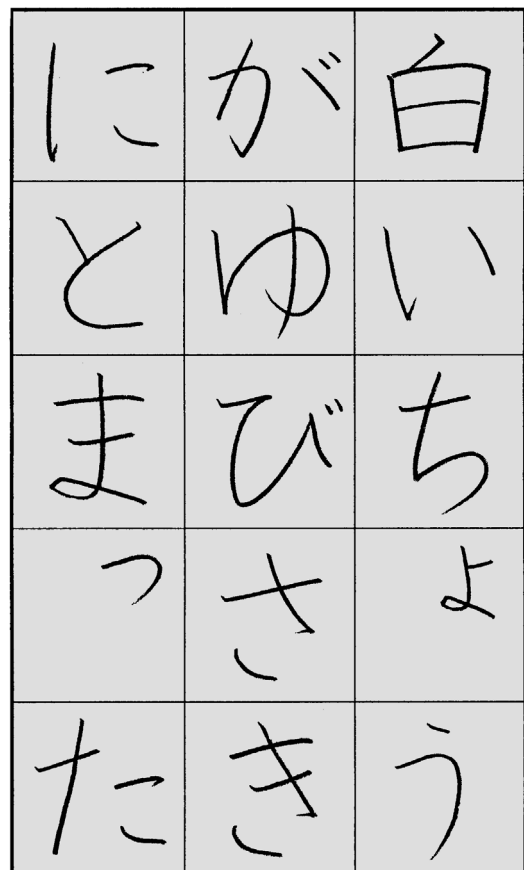
よ
う
年

幼年～小三年
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

姉	姉	姉	姉	姉
と	と	と	と	と
同	同	同	同	同
じ	じ	じ	じ	じ

新入1級

姉	姉	姉	姉	姉
と	と	と	と	と
お	お	お	お	お
そ	そ	そ	そ	そ
ろ	ろ	ろ	ろ	ろ

準初段以上

小二年

準初段以上

※明日…単語としてこのように読みます。

文	文	文	文	文
を	を	を	を	を
出	出	出	出	出
す	す	す	す	す

新入1級

想	想	想	想	想
文	文	文	文	文
を	を	を	を	を
出	出	出	出	出
す	す	す	す	す

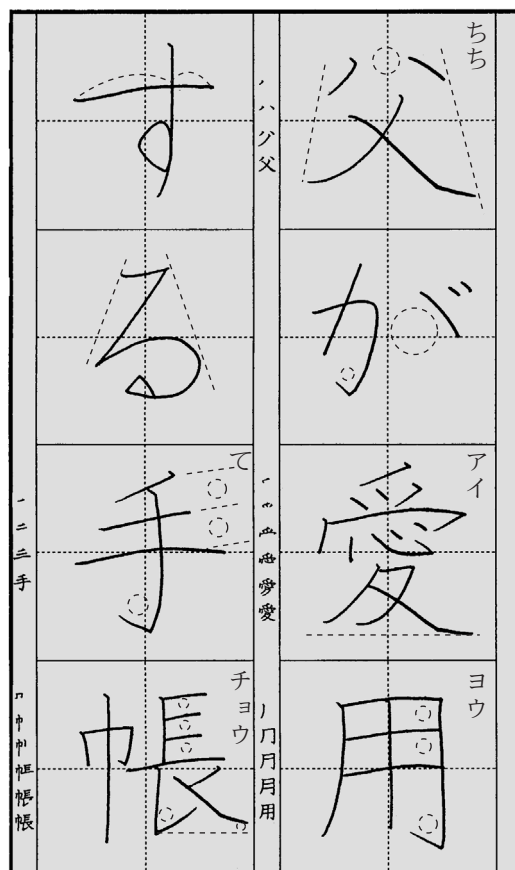
準初段以上

小三年

準初段以上

小四年

(全員)



新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、いじけないよう、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習をしましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

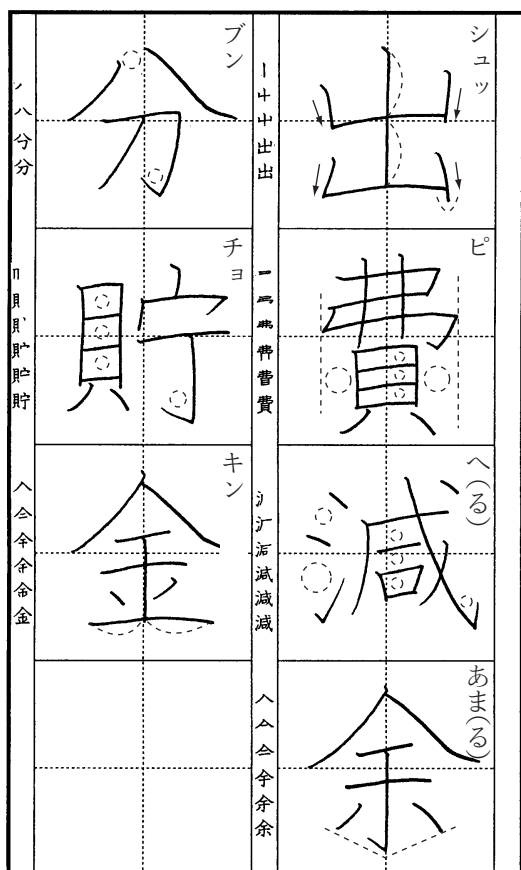
小五年

(全員)



小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四以上 尾郷翠光書

へようぐ 自由(黒色に限る)

うかがが族	族	美
かん	館	背
み(る)	見	魚
		水

解説(よく見て習いましょう)

族	れ	美
館	の	し
で	魚	い
見	を	背
た	水	び

小六年

(全員)

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

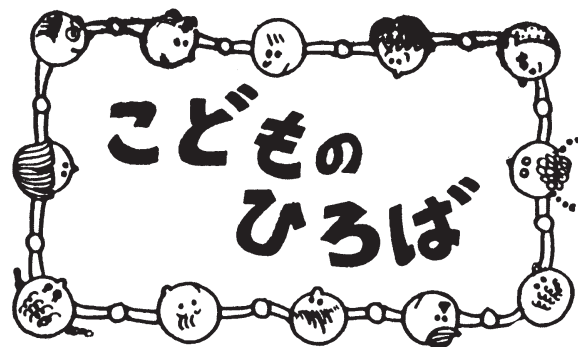
確	避	地
認	難	震
し	場	対
合	所	策
う	を	で

中二・三年 (楷書)

が	満	夏
光	天	の
り	の	夜
輝	星	空
く	座	に

中一年 (楷書)

▼小三年以下の課題 ひし 菱 ぬま 沼 こう 光 ほ 歩 書



しめきり 6月24日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 せき 関 らい 頼 しょう 翔 書

化	考	鳥	最	始
石	え	類	も	祖
動	ら	の	古	鳥
物	れ	祖	い	は
で	て	先		
す	い	と		
	る			

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、低学年は四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

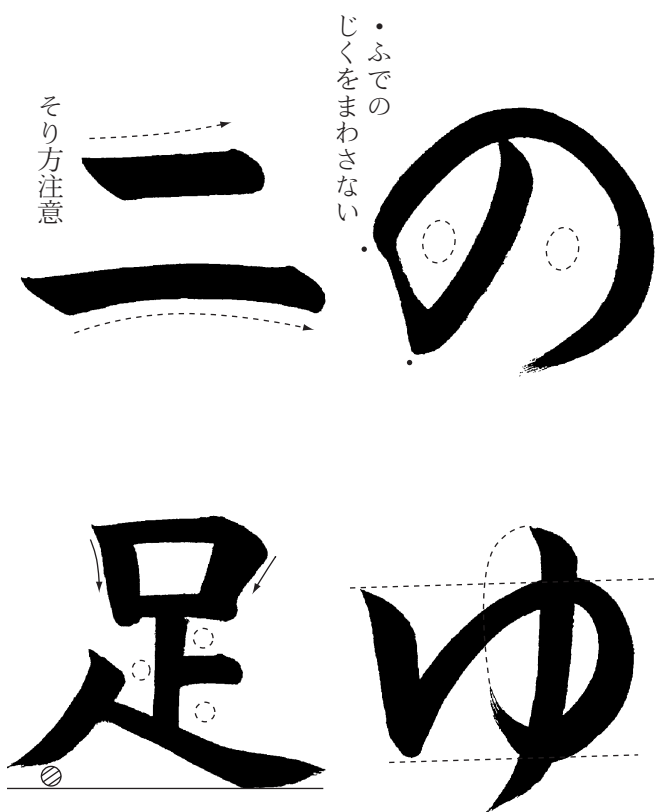
※明日：単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用

て	の	晴	楽	明
る	き	れ	し	日
て	下	る	み	は
る	に	よ	な	
ぼ		う	遠	
う		に	足	
ず				



幼年／小二年
玉樹小
華書



小五 貯金

小三 明日

帳 貯金
明日 手

小四 手帳

小三、小五年

水野の香竹書

中二三
対地
策震

小六／中二・三年

奥おく
村むら
暢のぶ
之ゆき
書

館水
小六
族

座震策
族館夏

長めにはらう

坐は中心より右に

中一
星夏
座の